

ESDに関する研究発表会開催!

11月には、市内で様々な研究発表会が行われました。この中で、大牟田市教育委員会の研究指定校として、大牟田市立平原小学校と大牟田市立白光中学校が、ESDに関する発表会を開催しました。今号では、この2つの研究発表会について紹介いたします。

【平原小学校】

11月10日(金)に、研究主題「意欲的に考え、表現する子どもを育てる消費者教育～学び合い活動を位置付けた学習過程の工夫を通して～」を掲げ、発表会を行いました。

消費者市民社会の到来をふまえて、ESDでめざす能力を高めるために、「であう段階」「つくる・深める段階」「生かす段階」の3つの段階での学び合い活動を取り入れた授業公開があり、横浜国立大学名誉教授西村孝男先生の講演も行われ、SDGsの視点からの研究の意義付けをしていただきました。



▲横浜国立大学
西村 孝男名誉教授

【白光中学校】

11月7日(火)に、研究主題「持続可能な社会づくりをめざす人間性豊かな生徒の育成～白光タイムと教科・道徳・特別活動をつなぐ取組を通して～」のもと研究に取り組んだ3年間の歩みが発表されました。ESDの視点を踏まえた教科の授業も公開され、総合的な学習の時間を核とした白光中学校の取組が紹介されました。

今回、ESDで身につけさせたい能力や態度を意識した授業づくりの提案がなされています。福岡教育大学の石丸哲史教授からは、改めてESDの本質についての講演がありました。



▲福岡教育大学
石丸 哲史 教授

大牟田の心をひとつに！ユネスコスクール
全国大会を成功させましょう！

大牟田市立中友小学校の実践

「人、地域とつながる「子ども民生委員活動」

中友小学校では、少子高齢化という地域課題をふまえて、ESDの一環として福祉教育に重点を置いています。5年生において、民生委員活動を地域の一員として共に体験し、教育活動に生かす「子ども民生委員活動」を8年前から続けています。人と人がつながりを持って生活している地域を大切にすることができる思いやりのある子どもを育成することをねらいに、「総合的な学習の時間」の中で、学習を進めています。主な活動としては、子ども民生委員委嘱状交付式、独居高齢者宅訪問、認知症学習、SOSネットワーク模擬訓練、街頭募金活動、敬老会の準備と参加などです。

今後も、地域とともに様々な活動に取り組みながら、高齢者や地域への理解がさらに深まることを期待しています。



大牟田市立大牟田中央小学校の実践

第4学年「延命公園ウォッチング」を通して

大牟田中央小学校の4年生は、春と秋の2回、「延命公園ウォッチング」を行っています。これは、自然の観察をする活動です。植物・樹木、野鳥、昆虫、水辺の生き物の4つのグループに分かれて、GTの方と一緒に調査しています。継続して取り組むことで季節ごとの動植物の様子の違いや良さが認識でき、改めて延命公園の自然の素晴らしさを実感することができます。

動植物の命の「有限性」や自然と人間との「つながり」に気づき、この豊かな自然を守り、未来へつないでいきたいという心が芽生えています。

